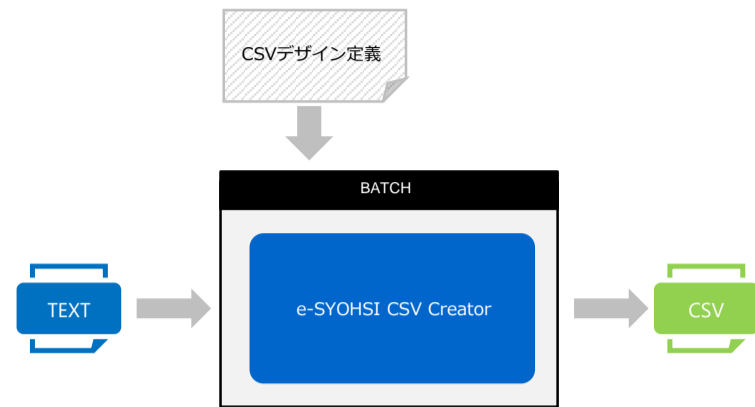


# e-SYOHSI CSV Creator V3.1 概要

基幹業務システムから出力する帳票データの二次活用ニーズは高まるばかりです。帳票として整理されたビジネス情報を後続の処理システムにつなぎ込むには、汎用的なデータ形式への変換が求められます。

e-SYOHSI CSV Creator は、帳票データからテキスト文字を切り出し、CSVデータ形式に編集するソフトウェアプロダクトです。

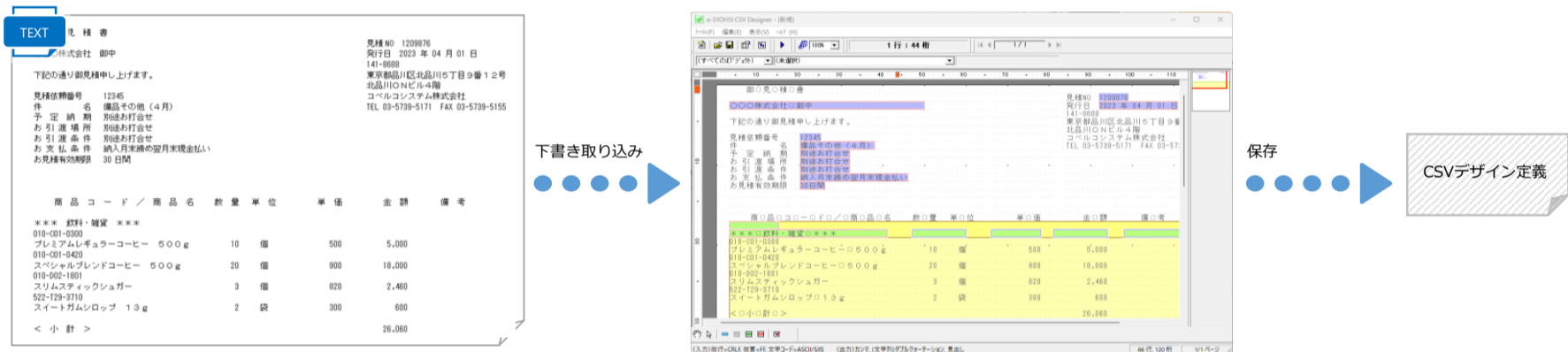
安定稼働するアプリケーションプログラムや導入済みソフトウェアの処理を変更することなくCSVデータ生成の仕組みを構築することで、業務システムの安定稼働を維持しつつ、豊富な帳票データ資産の有効活用と情報伝達の自動化を図ることができ、新たな要望への対応や課題解決につながる事が期待できます。



## 特徴

### ■ 専用のデザインソフトで簡単定義

専用のCSVデザインソフトで帳票プレーンテキストを下さき取り込みし、簡単な操作でCSV切出し設計が可能です。



### ■ デザインのシミュレーション

デザイン操作を進めながら、いつでも手軽にCSVデータ切り出しを確認することができます。



### ■ 帳票プレーンテキスト（入力）

固定長形式、可変長形式（改行・改頁）に対応します。  
文字コードはShift\_JIS、UTF-8をサポートします。  
※その他のデータ形式、文字コードにつきましては、お問い合わせ下さい。

### ■ CSVデータ切り出し（出力）

データ属性（数字列、文字列など）に適応したCSVデータ生成や、ストリング区切り文字の指定、フィールド区切り文字の指定、フィールド見出しの出力制御、明細レコードの出力制御など、用途に応じたCSVデータ切り出しができます。

### ■ 固定フィールド

帳票プレーンテキストからのデータ切り出しとは別に、指定した値でのフィールドを出力することができます。帳票IDなどCSVデータを識別するためのコードとして付与するのに役立ちます。

### ■ 制御情報の付与

CSVデータの先頭レコードとして、任意の制御情報（テキスト、バイナリー）を付与することができます。この先頭レコードを「追加見出しテキスト」といいます。後続処理への制御情報の引き渡し手段として活用することができます。

### ■ ファイル名変数

ファイル名から取得した文字列を変数として利用することができます。  
変数値は、固定フィールドや追加見出しテキストへ適用することができます。

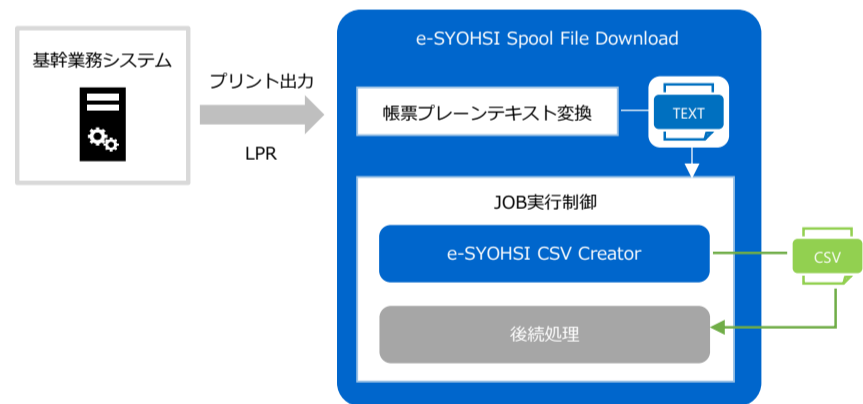
### ■ 複数書式の帳票ページ（マルチフォームオプション）

異なった複数フォーマットのページで構成された帳票プレーンテキストを各フォーマットの条件にもとづいてCSV変換することができます。  
※別途オプション製品「e-SYOHSI CSV Creator マルチフォームオプション」が必要です。

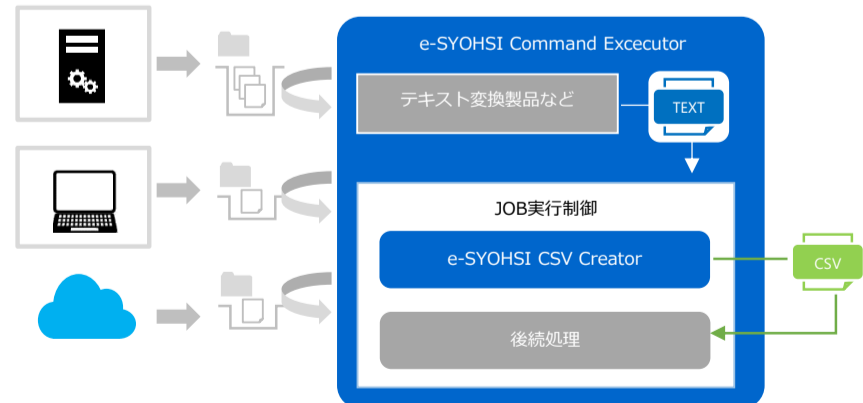
### ■ コマンドインタフェースによる多彩な実行

CSV変換処理はバッチコマンド形式で実行します。Windowsバッチコマンドですので容易に他プログラム等からの実行ができ、様々なシステム構築に応用することができます。

#### ▶ e-SYOHSI Spool File DownloadのPluginとして実行



#### ▶ e-SYOHSI Command ExecutorのPluginとして実行



#### ▶ アプリケーションや一般ソフトウェアからの実行

